



西川エリア

西川エリアは、6つの町内で構成された「岡山一の飲食店街」
主に、南北は「桃太郎大通り」「あくら通り」、
東西は「柳川筋」「市役所筋」に囲まれたエリアです。
西川緑道公園はちょうど背骨のように位置します。

1. 西川エリアを笑顔あふれる場所にする
2. まちの人と一緒に地域を育てる
3. プラットフォームになる



今とこれから

エリア内の特徴を示すデータ

現在の特徴

●主力産業は飲食サービス業・宿泊業

西川エリア内の飲食店舗数: 632
(主に17時以降営業が多い)

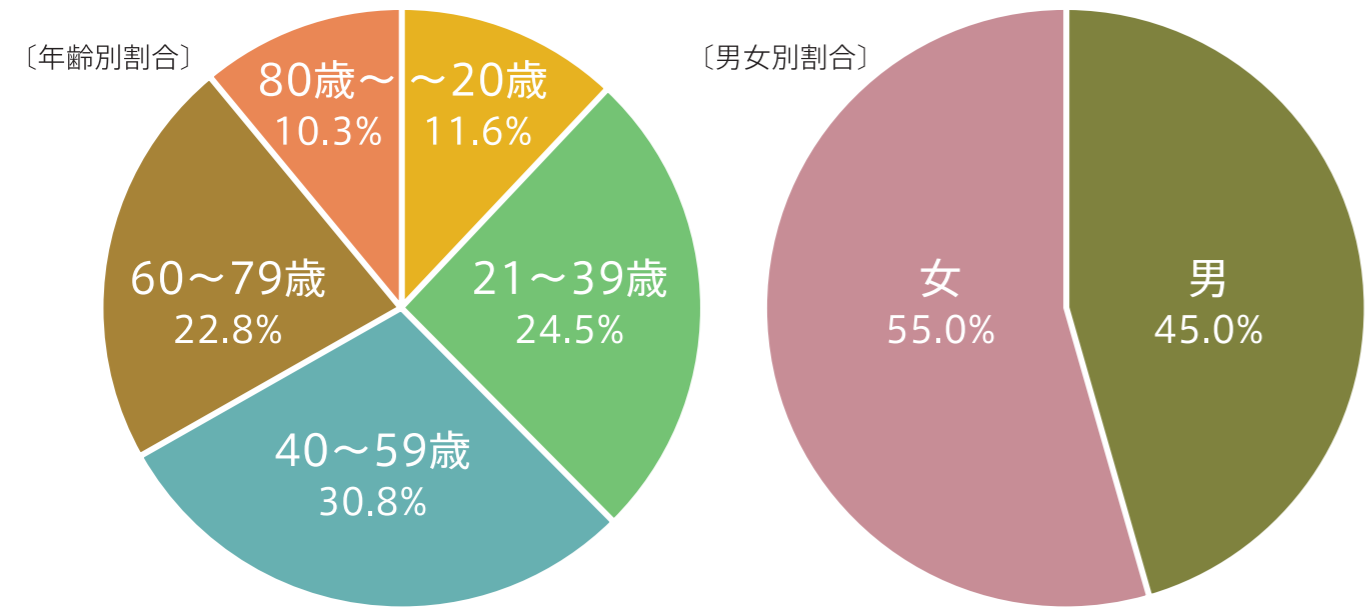
データ提供: 株式会社ぐるなび 2018.3.2時点

本町	182
幸町	69
錦町	55
平和町	80
磨屋町	87
田町	159
合計	632

●多くの建物の上層階は住居

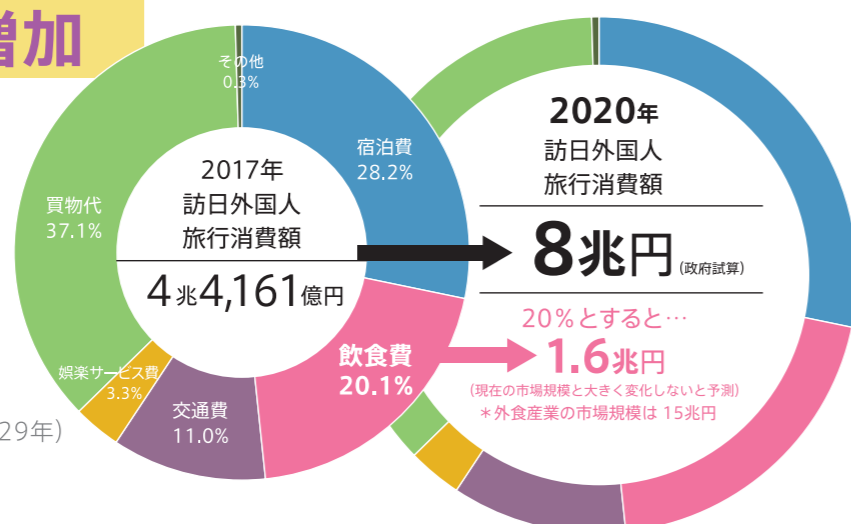
世帯数: 1304 / 人口: 2123

参照: 岡山市_町丁目別住民基本台帳世帯数・5歳階級別人口 平成30年6月末



↑訪日外国人の増加

2017年に岡山県宿泊した訪日外国人は約42万人。2020年までは、さらに外国人観光客の増加が予測されている。



↑新規ホテルや複合商業施設の増加

↑新規マンションの増加

2~3年以内に西川エリアを囲うように、複数の複合施設建設が予定されています。近年のインバウンド効果もあり、新規ホテル・飲食店の参入は増加傾向にあります。また、現在、新築マンション建設ラッシュエリアでもあり、新規居住者も増加します。

発生している課題・問題

風紀の乱れ、光害、騒音など住まう人と飲食店間の問題が発生している。

- ・飲食店(ガールズバー)の客引き行為
 - ・眩しいLED看板による光害
 - ・店外設置のスピーカーによる夜間の騒音
 - ・路上での販売行為 など
- 街のルールがないため規制ができない。

後楽園や城にも近く、岡山の「食」を最もアピールできるエリアなのに観光客を誘致できていない。

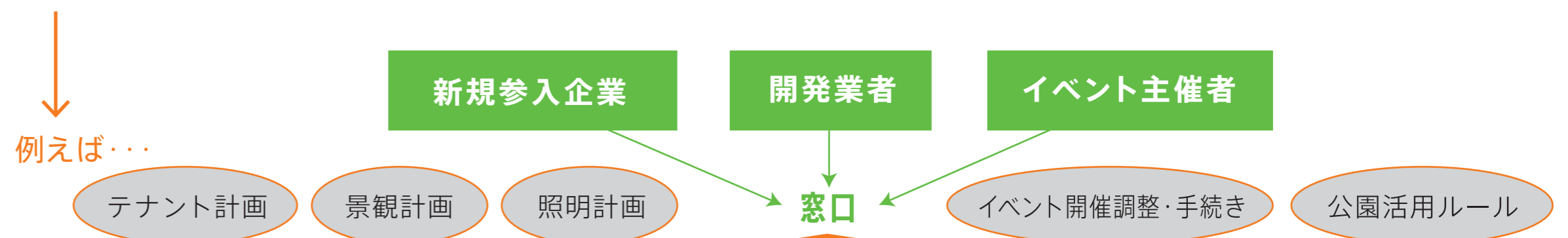
飲食店街としての街の名称が無い、観光目的の上位にある「食」要素の県内外への発信がとて弱い。サービス業の人材不足による営業時間の短縮や空き店舗の増加が考えられ、早く手を打たなければ西川エリアのポテンシャルが下がり、地域腐敗(価値低下)につながりかねない。

西川エリアまち育て協議体※の役割と活動

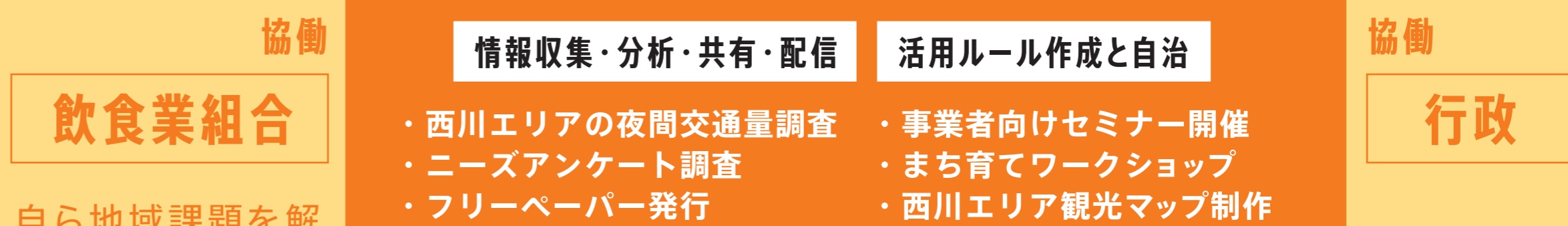
※通称「プラにし」チーム

私たち「プラにし」チームは圧倒的当事者として街に飛び出していきます。西川エリア内の飲食店・事業者・宿泊施設との協働体制づくりや地域資源活用ルールの検討などを行っていきます。訪れた人に、暮らす人に、働く人に、地域の未来に、笑顔がたくさん増えるように、私達がコミュニケーション・プラットフォームとなり、点を繋げて新たなネットワークを創ります。

長期的視点にたって、「まちの付加価値を高める=まち育て」に取り組み、地域の開発計画、魅力づくり計画をたてていきます。



西川エリアまち育て協議体



「ぷらっと西川」無料配布中!

フリーペーパーは、池田促成青果店、イオンモール岡山、オリエント美術館、岡山市役所、ももたらう観光センター(一番街)、西川エリア内にある宿泊施設、飲食店などに置いています。設置して下さる方、募集中です。詳細はホームページで。

<http://nishigawa.space/>



まずは、飲食業組合と共に西川緑道公園の緑を活かした安心安全な飲食店街を目指して街を育てていく。当事者である飲食店自らが街のルールを作り、守り、継続する事により西川エリアの課題を解決し、事業者にとって商売がしやすい、住民にとって住みやすい、観光客にとって訪れて楽しい街を創り出す。